

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)長浜二丁目共同住宅プロジェクト	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市中央区長浜二丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	412 人
気候区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2015年7月6日
敷地面積	1,746 m <sup>2</sup>	作成者	中尾 俊平
建築面積	943 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	9,238 m <sup>2</sup>	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.4</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 3.2</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 3.7</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.5</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.2</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.4</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.9</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.0</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>空気住環境、機能的な空間作り、敷地内環境、省エネルギー、敷地外環境への配慮にそれぞれ取り組んでおり、低炭素社会の実現に努めている。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>0</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>全戸サッシは複層ガラスを使用、外観壁は断熱材を吹付けた防露壁とした。またシックハウス対策はF☆☆☆☆材料を採用した。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>共用廊下・住戸内床は段差をなくし、ユニットバスには補助手摺を設け、バリアフリーに対処した。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>建物を高層化することにより、建物周辺に空地を設け、採光・通風を確保した。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>共用部照明は、タイムスケジュール制御とし、共用部・住戸内共、主要な照明はLED照明を採用、ガス給湯器は排ガス熱を利用するエコジョーズを採用した。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>流し台等の水栓は節水型とし、便器も節水型とした。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>前面道路路界には囲いを設けず、歩道沿いに植込みを設け、道路と一体になるようなオープンな空間とした。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される